

文教協会報

No.675

令和4年度 大垣市学校教育指導の方針と重点【概要版】 2
退職者の言葉..... 3～6
令和3年度 大垣市教育実践研究論文 7～10



令和4年4月6日（水）転入職員をつどい（オンライン開催）

令和4年度 学校教育指導の方針と重点

【概要版】

基本
理念

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣 ～次代を拓く「人」づくり～

基本
方針

- 1 夢や目標の実現にむけて、『学び挑戦できる人』
- 2 多様性を尊重し思いやりとたくましさのある、『心豊かな人』
- 3 歴史・文化に触れ、地域とのかかわりを大切にした、『郷土愛のある人』
- 4 生涯学び、いきいきと活動できる、『健康な人』

基本
目標

- 1 主体的な学びを推進し、確かな学力を身に付けた子どもを育成します
- 2 多様な人々との協働を促し、思いやりの心をもち、共に支え合う子どもを育成します
- 3 グローバル化に対応した教育を推進し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育成します
- 4 豊かな学びを支える教育環境を整備し、いきいきと活動できる子どもを育成します

□指導の重点 ◎最重点

1 確かな学力を身に付けた子どもの育成	2 思いやりの心をもち、共に支え合う子どもの育成
<p>◎各学校における探究的な学びの充実【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習状況を把握する調査を活用した指導改善の推進 <p>◎学力向上に資するICTを活用した授業の推進【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した家庭学習の充実 ・保幼小連携の推進 ・小学校からの教科専門性の向上 ・水都っ子チャレンジ事業による各学校の特色ある取組の充実 ・指導力向上のための校内研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・人権・同和教育の充実 ・大垣市「子どもの誓い」を核とした活動の充実 <p>◎情報モラル教育の充実【最重点】</p> <p>◎「学校いじめ防止基本方針」に則った対策の推進【最重点】</p> <p>◎不登校や問題行動の未然防止と対策の充実【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習の推進
3 ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもの育成	4 いきいきと活動できる子どもの育成
<p>◎「ふるさと大垣科」の学習の更なる充実【最重点】</p> <p>◎ICTの活用による教育活動の推進【最重点】</p> <p>◎「“世界に飛び出す”大垣の子どもを育てる英語教育向上プロジェクト」の推進【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、道徳、特別活動等における国際理解教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の充実 ・防災教育の推進 ・体力向上を図る学校体育の取組 <p>◎早期からの継続的支援(特別支援教育)【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導が必要な児童生徒への指導の充実 <p>◎教職員の働き方改革の取組【最重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理体制の見直しと改善 ・子どもの自立性、主体性を高める学校経営の推進 ・地域と学校の協働体制の確立

□評価指標

基本目標 1	基本目標 2
<ol style="list-style-type: none"> 1 授業では友達と相談したり、話し合ったりする機会がある子どもの割合(%) →87.0% 2 児童生徒のICT活用を指導できる教員の割合(%) →71.4% 	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分から進んであいさつをしている子どもの割合(%) →88.6% 2 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている子どもの割合(%) →98.7%
基本目標 3	基本目標 4
<ol style="list-style-type: none"> 1 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っている子どもの割合(%) →42.0% 2 CEF RのA1レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合(%) →28.4% 	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合(%) →59.0% 2 1校あたりの地域人材を活用した人数 →158人

退職者の言葉

令和3年度をもって大垣市立小・中学校を退職された方々のお言葉を掲載します。皆様に心より感謝申し上げます。

南小学校 星野 勝

振り返ると、教員生活38年間のうち、28年間を大垣市内の小中学校、教育委員会でお世話になりました。教師としても、人としても、今の私があるのは、出会った多くの先輩、同僚、後輩の皆様のおかげです。振り返れば幸せな教員生活を送ることができました。改めて、出会えたすべての皆様に感謝の気持ちをお伝えしたく存じます。

私が多くの皆様から教えていただき、大切にしてきたことの一つ目は「謙虚であること」です。傲慢から成長は望めませんが、謙虚であることで自分の中に落とし込める学びが増えるからです。二つ目は「バランス感覚をもっていること」です。言い換えると、より多くの人々が納得できる最大公約数が見えるということです。そうすれば周囲の賛同を得られるからです。

結局、二つとも独りよがりにならないということになるのでしょうか。これからも、きっとこのことが私にとっての「幹」になっていくのだと思います。ありがとうございました。

北小学校 比留木 修

「過ぎてしまえばアツという間」今、そんな気持ちです。初任の学校の出来事でさえ、昨日のこのように思い出すことがあります。

素敵な先輩方と出会い、教師として、人として、たくさんのことを学ばせていただきました。心から感謝申し上げます。

教員人生後半の座右の銘は「空を見上げて、夢を語れ」でありました。どんなに小さなことであっても、「明日、学校に行ってやりたいことがある」のは素敵なことだと思い、前向きに勤めようと心がけてきました。一方で、「退職の時に、まだやりたいことがあったら、どうするか？」とも、よく同僚に話していました。

いよいよ退職の時を迎え、次のステージでも「やりたいことを見付けることが自分の夢」となりました。その夢を実現することで、今までご指導を頂戴した皆様に少しでも恩返しができるよう、これからも空を見上げて、夢を語り続けていきたいと考えています。

日新小学校 高見 美智子

平成9年、中川小で文部省の指定を受け小学校での英語の授業づくりが始まりました。一時間の流れやカリキュラム、全校放送など一から考えることは大変でしたが、仲間の先生方と共に創り出す喜びは大きく、充実した毎日でした。

「小学校ならではの楽しみながら身に付く英語」づくりをしようと、日常生活や理科、社会、総合的な学習の時間、学校行事等とのつながりのある内容も取り入れました。必然性のある場面や状況、目的を設定し、自分の気持ちや自分で調べたことを伝えることを大切にしました。

中川小の先生方との実践をもとに、小野小・星和中との兼務や市研究会のメンバーで大垣市独自のカリキュラムの作成をさせていただきました。オーストラリア語学研修でホームステイをさせていただいたことも心に残っています。

学級担任中心でALTや英語地域人材講師と共に授業を行う仕組みは先進的でした。大垣市では、思ってもいないような様々な出会いや体験をさせていただき、本当に感謝しております。

墨俣小学校 西田 拓郎

大垣市には宝石のような思い出がいっぱいです。市民会館大ホールで行われた文教総会のステージ上で小2「俳句をつくろう」の公開授業をしたこと。全国に類を見ない特別な教科・ふるさと大垣科（俳句・文学編）の教科書編集や指導課程の作成に没頭したこと。それにもまして、たくさんの教え子ができたことが私の誇りです。刑期を終えてすぐに私がいる校長室に来た教え子がいました。心身症で職場へ行けなくなったと私の単身赴任先に泊まりに来た教え子がいました。お金を貸してくださいと玄関に額をこすりつけた教え子がいました。みんな大切な教え子です。私だって決して立派な生き方ができたわけではありません。だけど一生懸命に教員生活を送ってきました。これで「教員」は退職しますが、私はいつまでも教え子たちの「先生」でいたいと思います。人生百年時代。これまでの経験を生かしてさらに世に役立つことができるように第二の人生を頑張ります。

南中学校 堀田 一浩

退職する時、多くの先生方はご自身の今までの実践を振り返り、感慨深い思いになるのではないのでしょうか。私もそんな思いになるのかなと思っていましたが、いざその時になってみると、そんな感じはあまりなく、むしろこの先、教育界はどうなっていくのだろう、学校はどんな試練を乗り越えていかなければならないのだろうと、これからのことが気になっています。コロナ対策だけでなく、働き方改革、教員不足、不登校対策、いじめ防止、部活動改革等々、学校を取り巻く環境は決して楽観的なものではありません。自分もこれまで、いろいろな問題に自分なりに立ち向かい、対応してきたつもりです。しかしたいした成果もあげられず、問題を後輩に送った形になってしまった感があります。だからこの先のことが気になってしまうのです。成果をあげ、気持ちよくバトンを渡すというより、「神頼み」で渡すことになっていることに、大変申し訳なく思いつつ、筆を執っている今の私です。

牧田小学校 和田 直美

小学校5年生の時に転校した私は、そこで人生が大きく変わりました（大げさではなく本当です）。それまでの私は引っ込み思案で何をすることも自信がなく、人前で話すことも大の苦手でした。そんな私が教員をめざそうとした時、当時のことが頭に浮かび、「あの時の先生は、私自身が気付いていない私のよさを見付け、認めてくださった。だから私は変わったんだ。」と気付きました。「私も、一人一人の子どものよさを見付け、伸ばし輝かせることができる先生になろう。」と思いました。

それから37年。当時決意したような先生になれたかどうかは分かりませんが、たくさん子どもたちと出会えて楽しく幸せな日々を過ごすことができました。支えてくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、私の人生を大きく変えてくださったあの担任の先生にも感謝です。先生のお名前が「和田先生」だったのは奇蹟です。

荒崎小学校 河瀬 悦子

大垣市で最後の16年間、お世話になりました。その前の子育ての時期も含めるともっと長くなりますが、保護者としてもPTA、子ども会、スポーツ少年団など、学校や地域と関わる経験ができ幸せに感じております。

また、事務職員は、外部との窓口になることが多く、保護者や地域、業者、行政機関の方との連携が重要とされる立場です。

大垣市在任中は教育委員会の方にはいろいろな場で支えていただき感謝しています。私たちの仕事は市町村によってシステムが変わることが多く、慣れるまでが大変です。また、環境整備などで至急の対応が必要な時もあります。そうした困った時に、いつも心強い味方になってくださいました。そして、学校のため、子どものためという同じ熱い思いを感じました。

至らない点も多々あったかと思いますが、多くの方の支えで定年を迎えることができました。本当にありがとうございました。

静里小学校 倉本 和子

手書きで成績の一覧表や学級通信を書き、一学級45人だった時代から、タブレット端末を授業で活用し、パソコン入力で印刷し一学級35人の時代へと大きく変化しました。

そんな時の流れの中で、たくさん子ども達と出会い、多くの人と関わらせていただいたことは、自分の人生の宝物です。

「先生、覚えていますか。」と、教え子達が赴任した学校で、保護者となって声をかけてくれる時。

「〇〇の仕事をしています。」
「結婚しました。」「家族が増えました。」等の手紙が届く時。子ども達の成長を感じて、幸せにひたることができました。

38年の歳月を振り返り、たくさんの方に支えていただいたおかげで、この日を迎えることができました。感謝の気持ちで一杯です。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

静里小学校 安田 千恵美

大学卒業の年、いただいた免許の教員採用はありませんでした。そのため、通信教育で小免を取り、数年の講師経験を経て、平成の時代とともに、教員生活をスタートしました。

振り返ると、あつという間でした。未熟な自分が、ここまでこれたのは、ひとえに、一緒に勤務させていただいた先生方のおかげです。いいことばかりではない日々を温かく支えていただきました。本当にありがとうございました。

そして、子どもたちの「諦めないで、頑張り続け、できるようになる姿」に感動をもらっていました。小さな感動がなにかしらある日々が、とても好きでした。

退職後の生活の中にも、小さい感動や幸せを感じながら、生活していけたらと思っています。出会ったすべての人たちに感謝します。ありがとうございました。

江東小学校 高木 登世子

多くの人に助けられ、支えられて、この日を迎えたことに本当に感謝しています。

この頃の教育機器の変化に目を見張るものがあります。校内暴力もおさまりを見せた頃、ファミコンが家庭内に浸透し始めました。その時ゲームに夢中になる子が現れ、かたや私はやっと一行書けるワープロを手に入れ、デジタルの幕開けをしました。それから、学校現場にもパソコンが導入され、視聴覚教室がパソコンルームへと変わっていきました。エアコンが入り、ずらっとパソコンが並び、フロッピーディスクが一人ずつ配られた時、今以上に何ができるのかと思ったものでした。

今では、画面もブラウン管からついにタブレットへと変わっていきました。美術で、デジタルアートの作品作りをし、できた作品のアナログとは違う良さを感じたものでした。一人一台のGIGAスクールが特別支援にも役立つことを願っています。

小野小学校 藤井 博之

「先生は僕の気持ち、分かっていない！」この一言で子どもとの関わりについて、はっとさせられました。受け持った特別支援学級のある児童が突然発しました。しかし、これが子どもの言葉、行動の背景を今まで以上に考える機会になりました。そして雑談をしながら落ち着きを取り戻した後、本音を探るようにしました。

その子は自分の気持ちをいつも抑えていたことが分かりました。「無理をしなくていい。泣きたければ泣けばいい。」と傍らに座り肩をたたきながら語りかけました。しばらくして、泣きながら「先生、もう大丈夫」と明るい声で返してくれました。子どもの素直さと力強さを感じました。

38年の間に、多くの先生方、保護者とその家族、地域の方々等のご指導とご援助に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。十分力になれませんでした。笑顔やがんばりで励ましてくれた子どもたち。本当にありがとうございました。

江並中学校 傍島 義雄

最初はまわりの先生方と自分を比べ、どうしたらあんな風に見えるのか。と悩みましたが、まわりの先生に聞いたり、まねをしながら、目の前のことを1つ1つ、自分なりの方法で処理しながら日々頑張ってきました。ありがたいことに、いろいろな研修の機会もいただきましたが、その都度、大変さに押しつぶされそうになり、何度もくじけそうになりました。そんな中、一生懸命取り組む姿や分かった、できたという生徒の反応や成長した姿に感動し、やりがいを感じながら自分も成長できました。また、35年間の教員生活では、多くの先輩や同僚、保護者や地域の方など、いろいろな方との出会いがあり、温かく見守っていただき、数え切れないほど支えていただきました。劣等感に押しつぶされることなく、最後まで教員として勤めることができ、本当に幸せです。皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

江並中学校 安田 玲子

私の教員としての生活は、今はなき南濃中学校から始まりました。1980年代、校内暴力や中学生の非行等が世間の話題となる中で、自分は本当に教師が務まるのだろうか大きな不安を抱えて教員生活をスタートしたことを、今でもはっきりと覚えています。

振り返れば、38年間の歳月が流れ、そのうち大垣市で24年間お世話になりました。

生徒と共に喜び悲しんだこと、生徒指導や学級経営で思い悩んだことなど、数えきれないほどの出来事がありましたが、その度に先輩や同僚の先生方に支えていただき、困難を乗り越えることができました。今となっては懐かしく良い思い出です。

多くの方々と出会い、様々な貴重な経験を積み重ねることができたことに、改めて深く感謝いたします。

本当にありがとうございました。

西部中学校 清水 竜也

36年間の教員生活を振り返ると本当にあっという間でした。その間をすべて中学校で勤務させていただき、その内30年間を赤坂中、東中、西部中でお世話になりました。また、36年間に渡り大好きな音楽の指導と、吹奏楽の指導に携わることができたことにとっても感謝しています。特に、「大垣市中学校音楽会」や「大柿大合唱」など他校との交流は、自分自身を大変成長させてくれました。さて、部活動では、これまでに700名を超える生徒を吹奏楽部から送り出しました。その内30名を超える生徒が音楽の教員や演奏家として活躍していることを誇りに思います。そんな教え子たちの活躍を見ていると、自分がやってきたことは間違いではなかったと感じ、逆にその教え子たちに恥ずかしくないように、自分ももっと頑張らなければと思います。これまで支えてくださった先生方、様々な方からご支援をいただいたことを忘れません。本当にありがとうございました。

西部中学校 高木 清浩

今日までの教員生活を無事勤めることができ、多くの方々に支えていただきまして、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度はコロナ禍のもと、様々な制限がある中で教育活動が行われました。そのような中で、タブレット端末をうまく使って主体的に学習したり、黙働掃除をはじめ、自ら整理整頓に心がけ、美しい環境をつくったりする生徒の姿に接することができました。一生懸命に取り組む姿勢からエネルギーをもらい、多くのことを学ばせていただきました。

これまで、さまざまな子供たちに出会い、たくさん時間を過ごす中で、私自身、時に喜び、時に悲しみ、考え行動することで、人間として成長させていただくことができました。

最後に、多くの人々に支えられた38年間でした。ご指導いただいた先輩方、支えてくれた同僚、生徒や保護者の皆様、そして家族のおかげです。本当にありがとうございました。

赤坂中学校 渡邊 万洋

多くの方から慕われていた祖母の姿に憧れ教師を目指すようになり、これまでに多くの先生方や児童生徒の皆さんと出会い、学び成長し合えたことが、教員生活での大きな財産となりました。

初任で美濃加茂市立古井小学校（4年）、大垣市に配属され北中（8年）、南中（7年）、昨年統合された関ヶ原町立今須小中学校（3年）、再び北中（7年）、東中（5年）、赤坂中（3年）という計37年間の永きにわたり皆様方の温かいご指導とご支援を賜り、令和3年度をもって教職を終えられること、心から感謝し厚くお礼申し上げます。

また、体育祭・合唱コン・宿泊研修などの行事や日常における数々の活動で、生徒と共に汗・涙しながら多くの苦しい過程を乗り越え共に味わった達成感と輝く笑顔は、自身の何物にも代え難くかけがえのない大きな感動と喜びになりました。

これからは皆様方から頂きました数々の教えを心の糧として心新たに有意義な人生を歩んで参りたく存じます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

令和3年度 大垣市教育実践研究論文

3月7日（月）に、令和3年度大垣市教育実践研究論文賞状伝達・奨励金交付式が行われ、山本教育長から賞状と奨励金を授与していただきました。



入賞者は次のとおりです。

戸田氏庸賞 10名

優 秀 賞 14名

優 良 賞 39名

<戸田氏庸賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
東小 箕浦 希生	図画工作科	自ら理想とする「美しさ」を追求する児童の育成 ～児童がタブレットを通して学びの足跡を残す活動を中核に～
西小 奥田 昌太	保健体育科	個別最適化を目指した誰一人取り残すことのないICTを活用した授業実践 ～学習の個性化・指導の個別化・協働的な学びを通して～
宇留生小 加藤 舞子	図画工作科	感性を高め、思いが創造に生きるICT機器の活用について ～作品に主体的に関わり続ける子どもの育成を目指して～
静里小 柴田 泰成	英語科	主体的にコミュニケーションを図る児童の育成 ～タブレット端末の活用をとおして～
江東小 江端 春香	道徳	自己の生き方を考え、他者と共によりよく生きようとする児童の育成 ～道徳的価値のとらえ方と、授業後の児童・教師の取り組み～
時小 篠田 耕佑	総合的な学習 の時間	「ふるさと時」への愛着と誇りを育むふるさと学習 ～「ふるさと時のかがやきを発信しよう」の活動を通して～
墨俣小 高間 祐子	図書館教育	公立図書館との連携による図書館教育の充実 ～進んで図書館を利活用し、自分の学習や生活に生かす子の育成～
興文中 三輪 大輔	特別活動	特別活動における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて ～検証改善サイクルを機能させ、よりよい人間関係を育む～
興文中 柳瀬 和也	国語科	再考学習 ～交流活動を通して自他の考えを広げ深め、多様な視点から思考し続ける生徒の育成～
東中 廣瀬 葉子	英語科	ICT活用した「主体的に楽しく学ぶ生徒」が育つ授業づくり ～「できた・わかった」を実感しながらコミュニケーションに挑み続ける生徒の育成～



<優秀賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
興文小 大熊 英敬	社会科	自ら主体的に学習に取り組み、よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習
東小 細江 快	理科	問題を見いだす力を育成する理科学習 ～第5学年 エネルギー領域、生命領域の実践を通して～
東小 小澤 百香	生活科	生活科の見方・考え方を生かして、自分の成長を実感しながら、思いや願いを実現しようとする児童の育成 ～第1学年「たのしいあきいっぱい」の実践を通して～
江東小 佐伯 忠彦	英語科	学んだ表現を用いて話す「やり取り」ができる児童の育成 ～主体的・対話的な学習を通して～
中川小 江崎 竜世	外国語活動	英語を楽しく学び、自信をもって英語を使い、心から表現したい思いを伝えることができる児童の育成
中川小 大野 美吹	算数科	主体的・対話的に学ぶ力を育成し「学びの楽しさ」を実感する算数科授業 ～話し合い、伝え合う中でわかる喜びを実感できる児童の育成～
小野小 川村 文香	総合的な学習の時間	ホタルの飼育を通して子どもが主体的に学ぶ総合的な学習の時間 ～探究的な学習の実現と他教科との関わりを図る～
小野小 岩田 優太	学級経営	GIGAタブレットを活用した学級経営・学習支援
荒崎小 梶 里江	健康安全	自己の生活を見つめ、主体的に健康を管理できる児童の育成 ～感染症の予防方法を理解し、意識や行動の変容につなげるための支援の在り方～
青墓小 松宮 友葉	道徳	生活に結びつく道徳教育の推進 ～自己を見つめ、言語化する活動を通して～
多良小 近藤 志穂	算数科	主体的に学び、日常生活に生きて働く算数科学習 ～日常生活と関わらせて、楽しく学べる割合の学習を通して～
墨俣小 滝本 花音	外国語科	英語に親しみ、ふるさとに誇りを持ち、主体的に学ぶ児童の育成 ～地域の教材化と言語や文化の体験～
東中 宮原 遼也	技術・家庭科	技術の見方・考え方を働かせ、仲間とともに学びを深める活動を通して、持続可能な社会を目指して、解のない問題を追求し続ける生徒の育成 ～一人一台タブレット端末の活用を通して～
北中 仙田 あかり	教育相談	自己実現のために問題解決ができる生徒の育成 ～教職員の危機管理意識の向上と教育相談体制の充実～



<優良賞>

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
興文小 窪田 泰三	保健体育科	体育科学習におけるタブレット端末の有用性 ～運動領域別活用実践を通して～
興文小 松久 姫華	算数科	論理的に思考し、表現する力を育てる算数科指導の在り方
東小 土川 純子	特別活動	自らの食生活を見直し、課題解決に向かう実践的な態度を育てる食育の学習 ～4年生の特別活動における授業づくり～
西小 手島 奏	自立活動	P D C Aサイクルを意識した自立活動 ～共同作業の場を取り入れた活動を通して～
西小 安田 和司	社会科	I C Tを効果的に活用した社会科授業の開発 ～「主体的・対話的で深い学び」を目指して～
西小 藤井 千夏	学級経営	児童が生活に主体的に関わり自己を生かすことができる集団づくり ～動機付ける活動や環境整備を通して～
南小 後藤 謙和	生活科	気付きを自覚し、願いをもって豊かに表現する児童を育てる生活科学習の在り方
北小 丹羽 遼	総合的な学習 の時間	仲間と高まり合う楽しさを実感する児童の育成 ～プログラミングボール「Sphero Bolt」を用いた教材開発を通して～
北小 鈴木 雅弓	国語科	自分の考えをもち、仲間と伝え合うことを通して、「学びの楽しさ」 を実感する児童の育成 ～思考ツールやI C T機器を活用した授業実践を通して～
北小 青木 葉月	算数科	算数科における個別最適な学びを目指した授業 ～全体への提示と個への提示～
日新小 小森 一輝	理科	主体的に理科学習に取り組む児童の育成 ～自ら問題を見出す力を育成するための指導・援助の工夫～
安井小 園田 采香	算数科	筋道を立てて考える子を育てる算数科の授業 ～主体的な深い学びの実現に向けた授業改善を通して～
安井小 五島 耕介	算数科	筋道を立てて考える子を育てる算数科の授業 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～
宇留生小 井上 雄也	算数科	数学的活動を通して、「学ぶ楽しさ」を実感し、主体的に学ぶ力を 育てる算数科学習 ～タブレット学習ソフトの活用～
綾里小 西田 愛花	保健体育科	「わかる・できる」を目指し、動きの高まりを実感できる体育科授業 ～I C T機器を活用した授業実践を通して～
江東小 鈴木 貴裕	理科	理科教育におけるI C T活用 ～I C T機器を活用した、理科における資質・能力の育成を目指して～
川並小 澁谷 美有	国語科	言語活動を通して、思いや考えを伝え合う力を高める国語科学習
中川小 小林 広明	特別支援教育	「わかる・できる」が実感でき、主体的に学ぶ児童の育成 ～個の課題を明確にした自立活動を通して～
小野小 清水 瑠衣	社会科	全ての児童が、「社会的な見方・考え方」を働かせながら問題解決 ができる社会科教育 ～社会科授業のユニバーサルデザインを通して～
小野小 吉田 健志	学級経営	持ち上がり学年に対しての継続的指導の有効性と繋がり

学校名 氏名	教科・領域	研究主題
小野小 佐藤 裕貴	社会科	主体的にコミュニケーションが図れる社会科授業の実践
赤坂小 小池 優南	音楽科	音楽的な見方・考え方を働かせ、楽曲のよさを感じ取れる児童の育成 ～デューイの「生成の原理」を活用した実践～
赤坂小 船場 直道	道徳	他者との対話から、多角的・多面的な考えを把握しねらいにせまる 授業づくり ～考え・議論する道徳を通して～
牧田小 北風 佳子	国語科	読み手を意識して書く活動に向かう子の育成 ～国語科説明文における対話を通して～
墨俣小 竹中 啓悟	I C T教育	タブレットを活用したI C T教育による児童の育成 ～コロナ禍における教育の充実を目指して～
興文中 河合 秀哉	理科	日常生活とのかかわりを意識し、主体的に自然の事物・現象にかかわろうとする生徒の育成
東中 小川 晃司	生徒会活動	中学校生徒会活動における主体的に活動に参加する生徒育成の工夫 ～自ら課題を発見し、解決に向かう生徒の育成を目指して～
東中 鳥村 悠登	社会科	学びの主人公となる生徒を育むための授業改善（1） ～「対話的な学び」に着目して～
東中 今西 賀寿真	数学科	主体的に授業に取り組む生徒を育むための数学授業の実践
北中 大橋 擁太郎	保健体育科	「できた」「分かった」と実感できる指導方法の工夫 ～練習方法の工夫・特設練習場の設置・I C Tの活用、教え合いを通して技能向上を図る～
北中 庄司 貴治	道徳	生徒が自分のこととして考える道徳科の授業づくり ～生徒の実態把握を基にした指導の在り方と指導過程の工夫～
江並中 永井 美由紀	音楽科	見方・考え方を働かせ、主体的に学ぶ生徒の育成 ～鑑賞領域における教師の働きかけと生徒の学びを通して～
赤坂中 福嶋 怜	英語科	学ぶ必然性を持ち、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～授業での学びを活かすことのできる生徒の育成を目指して～
赤坂中 中谷 瑞希	国語科	I C T機器を活用した生きてはたらく言語能力の育成 ～言語能力の高まりを実感する言語活動の充実を通して～
西部中 村瀬 亮太	理科	単元を貫く教科横断的なカリキュラムやポートフォリオの作成を通して、科学的に探究する意欲をもった生徒の育成 ～地震と建物の構造に着目した防災学習を通して～
西部中 三ツ村 慧	部活動	自ら考え、行動する生徒の育成 勝利と人間力の向上をめざして
西部中 坂 帆乃香	社会科	I C T機器を活用した生徒が意欲的に取り組める授業づくり ～有効的な小集団交流とI C T機器のさらなる活用の両立に向けて～
星和中 磯谷 直毅	技術・家庭科	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための指導の在り方 ～実物とI C Tのそれぞれのよさを活かした、意図的な教育活動の工夫～
上石津中 清水 美也子	音楽科	音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しむ生徒の育成

